

船舶事故調査報告書

平成31年3月20日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	のり養殖施設損傷
発生日時	平成30年5月6日 14時30分ごろ
発生場所	播磨灘 <small>はりまなだ</small> の鹿ノ瀬 <small>しかのせ</small> 北西方沖 東播磨港別府西防波堤灯台から真方位214°6海里付近 (概位 北緯34°36.9′ 東経134°45.8′)
事故の概要	プレジャーボートBlue Whale <small>ブルーホエール</small> は、航行中、のり養殖施設に乗り入れ、養殖区画のロープを切断した。
事故調査の経過	平成30年8月6日、主管調査官（神戸事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート Blue Whale、6.6トン
船舶番号、船舶所有者等	270-33481大阪、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型
負傷者	なし
損傷	本船 なし のり養殖施設 養殖区画のロープが切断
気象・海象	気象：天気 雨、風向 南南東、風力 3、視界 良好 海象：波高 約0.5m、潮汐 高潮時
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、岡山県瀬戸内市牛窓港 <small>せとうちうしまど</small> を出港し、明石海峡に向けて家島諸島南方沖を航行中、鹿ノ瀬付近に設置されているのり養殖施設に乗り入れ、養殖区画のロープを切断した。
分析	本船は、鹿ノ瀬北西方沖を航行中、のり養殖施設に乗り入れ、養殖区画のロープを切断したものと考えられるが、船長から情報を得ることができなかつたため、同施設に乗り入れた状況を明らかにすることはできなかつた。
原因	本事故は、本船が、鹿ノ瀬北西方沖を航行中、のり養殖施設に乗り入れたことにより発生したものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・航行する水域については、事前に水路調査を十分に行い、養殖施設等の位置を把握しておくこと。 ・航行中は、船位を確認して養殖施設に近づかないこと。